



平成 29 年 4 月 6 日

第 2 2 回留萌開発建設部総合評価審査委員会の 審議概要について

平成 29 年 3 月 8 日(水)に開催された第 2 2 回留萌開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2312

技術管理課 課長 栗田 五輪人 (内線 391)

課長補佐 今井 正欣 (内線 392)

留萌開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>



第 2 2 回留萌開発建設部総合評価審査委員会概要

開催日及び場所	平成 2 9 年 3 月 8 日 (水) 13:30 ~ 15:30 留萌開発建設部 第 1 会議室	
委員	蟹 江 俊 仁 (北海道大学大学院工学研究院教授) 神 谷 光 彦 (北海道科学大学名誉教授) 谷 野 賢 二 (東海大学生物学部講師) (五十音順)	
審議対象期間	平成 2 8 年 7 月 1 日 ~ 平成 2 8 年 1 2 月 3 1 日	
議 事 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 留萌開発建設部が発注した総合評価方式による工事及び建設コンサルタント業務の実施状況報告 2 抽出工事及び建設コンサルタント業務の報告 3 抽出工事及び建設コンサルタント業務の審議 	
委員からの意見・質問、それに関する回答		
意 見 ・ 質 問	回 答	
<p>【審議】総合評価落札方式等の実施結果</p> <p>○天塩港外 1 港航路浚渫工事 (一般競争入札・総合評価 (施工能力評価 I 型 施工計画重視型))</p> <p>J V の工事成績は、どのように評価するのか。</p> <p>浚渫土のセメント混合状態の確認方法に関する提案を評価した理由は何か。</p> <p>荒天時の作業船の避難方法に関する提案は、避難場所が決まらなければ履行できないのではないか。</p> <p>○天塩川改修工事の内 泉波樋門改築工事 (一般競争入札・総合評価 (施工能力評価 I 型 施工計画重視型))</p> <p>増水時に河川水の流入を防止するために大型土のうを使用する提案を評価しなかったのはなぜか。</p>	<p>J V 構成員各社の工事成績を平均して評価している。配置予定技術者(監理技術者)が複数名申請された場合には、評価値の合計が最も低い者を評価対象にしている。</p> <p>混合状態を客観的に判断できるからである。</p> <p>荒天が予想されたときの避難場所については、着手前に決めることが可能である。</p> <p>大型土のうの荷重が近接構造物へ及ぼす影響が考慮されておらず、そのまま履行させることができないためである。</p>	

委員からの意見・質問、それに関する回答	
意見・質問	回答
<p>除雪用シートに関する提案が、評価された者と評価されなかった者に分かれた理由は何か。</p> <p>防寒仮囲いの中の気温を均一にする設備の提案が評価されなかったのはなぜか。</p> <p>○遠別漁港基本設計その他業務 (簡易公募型プロポーザル)</p> <p>協議時期の記載ミスとの理由で減点されているのはなぜか。</p> <p>設計審議の時期は、特記仕様書等に明示してあったのか。</p> <p>動的変形解析の提案については、パラメータの設定次第で様々な解析結果が生じることに留意して対応されたい。液状化を許容する提案についても慎重に対応されたい。</p> <p>風力冷却指数を用いて就労環境の改善効果を評価する提案は積極的に評価すべきではないか。</p> <p>○一般国道40号 天塩町 天塩防災施工計画検討外一連業務 (簡易公募型競争入札 総合評価(標準型))</p> <p>評価基準になる数量が業務ごとに違うので、審査ミスの防止対策が必要ではないか。</p> <p>各者が様々な施工方法を提案しているが、この業務の落札者が提案した方法を実際の工事に採用するのか。</p>	<p>特記仕様書どおりに除雪用シートを使用する提案と、仕様よりも強度が劣るシートの提案は評価しなかった。除雪用シートに加えて、雪が盛土へ混入しないように工夫した提案を評価した。</p> <p>その仮囲いは、ジェットヒータだけでもおおむね均一に加温可能な大きさなので評価しなかった。</p> <p>レベル1地震動算定の後の協議時期が、フロー図と工程図で整合していないためである。</p> <p>特記仕様書に設計審議2回の実施時期を明示しており、審議の前に早めに資料を提出する工程である。</p> <p>動的変形解析は、側方流動による基礎杭への影響を把握できることに着目して評価した。液状化は許容しないことにしている。</p> <p>風力冷却指数は屋根付き岸壁の設計に採用しているが、この船揚場にはクレーン操作室が計画されているので評価しなかった。</p> <p>各業務の標準数量が容易に確認できるように工夫している。</p> <p>業務履行の際には、受注者が提案した方法も含めて色々な施工方法を比較検討して、発注者との協議で最適な施工方法を決定する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>